

令和6年5月23日

所沢市長 小野塚 勝 俊 様

所沢市廃棄物減量等推進審議会
会 長 山 谷 修 作

所沢市一般廃棄物処理基本計画の改定について（答申）

令和4年6月30日付け所資推第78号で諮問のありました標記の件につきましては、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、別添の「所沢市一般廃棄物処理基本計画（素案）」としてとりまとめましたので、ここに答申いたします。

なお、本計画の推進にあたっては、下記の附帯意見に配慮するよう要望します。

記

1 附帯意見

「所沢市一般廃棄物処理基本計画」に掲げる基本理念である『「もったいないの心」を大切に！3Rで作る循環型社会 ところざわ』を達成されることを切に願います。

このためには、本計画に示した目標値の達成に向けて、本審議会ですべられた次の提案について十分に配慮し、市民・事業者・行政が協働してごみの減量・資源化に取り組むことを求めます。

(1) 家庭ごみ減量のさらなる推進

① 令和3年度に所沢市が実施した組成分析の結果によると、燃やせるごみの中には、「雑誌・雑がみ」や「古着・古布」など、分別すれば資源化が可能なものも多く含まれていることから、市民の分別に対する意識をさらに高めることによって、ごみ減量を進めることを求めます。

② 本計画に掲げる減量目標及びその達成状況を市民や事業者に周知するだけでなく、市内で開催される様々なイベントでの啓発や、集団資源回収制度の充実、関係各所と連携した環境教育の積極的な実施を求めます。

③ 市民の消費活動やライフスタイルの変化に合わせて、分別区分、収集方法及び収集頻度等を適宜見直すことを求めます。

④ ごみの減量や資源化を推進するため、経済的手法の活用についても検討していくことを求めます。

(2) 食品ロスの削減の推進

令和3年度に所沢市が実施した組成分析の結果によると、生ごみのうち、食べ残しや手つかずの食品といった、いわゆる食品ロスの割合が約3割であったことから、市として食品ロスの削減を推進するよう求めます。

(3) プラスチック類の資源化の推進

海洋プラスチックごみや温室効果ガス排出量の削減など、プラスチック類の資源化については、循環型社会の実現に向けた重要な課題です。

市民が排出するプラスチック類の適正排出に向けた啓発や、回収の合理化を図ること及び回収されたプラスチック類の資源化手法を確立することを求めます。

(4) バイオマス資源化の推進

国では、廃棄物系バイオマスの飼料化、堆肥化、メタンガス化等の再生利用について進めていく方向性を示しています。

市では、さらなるごみの減量を目標として掲げていることから、こうした取り組みについて、他市の先進事例等を参考にしながら調査・検討することを求めます。

(5) 事業系ごみ減量の啓発

市内の事業者に対しては、引き続きごみの減量・資源化に取り組むよう促していくことを求めます。

(6) 紙おむつの資源化の推進

高齢化に伴って排出量の増加が懸念される紙おむつについては、国内各所で資源化等の実証事業が進められています。所沢市においても資源化等の施策が実現できるよう調査・検討することを求めます。

以上